



## 画像処理の実際

### ◆使用ソフト

画像処理ソフトは、簡単なものからプロが使用するものまで、また無料ソフトから高価な有料ソフトに至るまでピンからキリまでありますが、その目的によって使い分けることが最も効率が良いと思います。

今回は私が実際に使用し、使い勝手が良いと判断して現在も使っている無料ソフトをご紹介します。

### 『Microsoft office に付属されている Picture Manager』

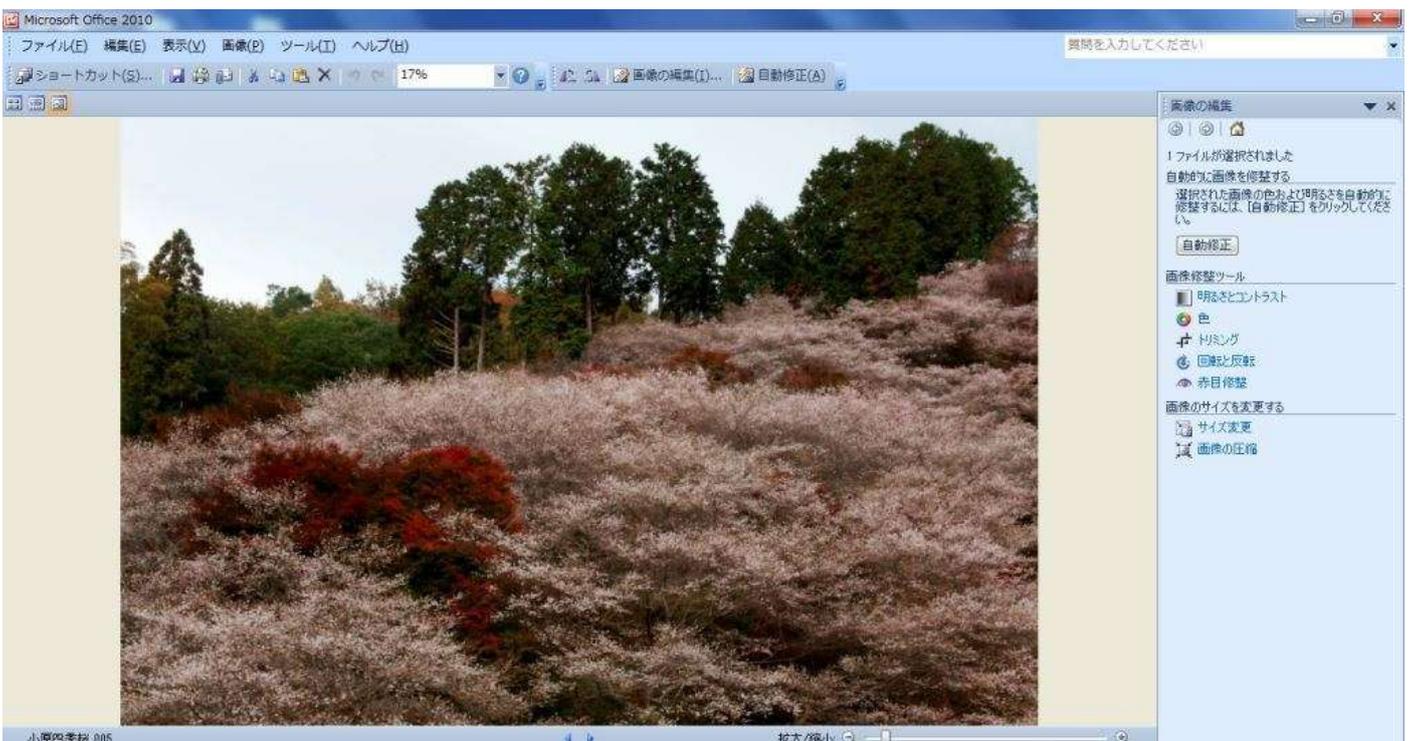
### ◆Picture Manager の起動

通常は編集したい画像をクリックすると『Windows Live フォトギャラリー』が自動的に起動すると思います。Picture Manager を起動するには編集したい画像にカーソルを合わせ、「ファイル」の中から「プログラムから開く」を選択し、Microsoft office2010 を指定すれば Picture Manager が起動します。しかし毎回この手順を行うと手間間なので自動的に起動するにはコントロールパネルからプロトコルの関連付けを行う必要があります。

### [プロトコルの関連付け]

- ① すべてのプログラムより「コントロールパネル」を開く。
- ② 「プログラム」を選択し、「既定のプログラム」を選択する。
- ③ 「全てのプログラムに対し、既定のプログラムとして設定する」をクリックすると左側にそのパソコンにインストールされているすべてのプログラムが列挙される。
- ④ その中より「Microsoft office2010」を選択する。
- ⑤ 画像をクリックするだけで自動的に Picture Manager がする。

## PictureManager



## ◆Picture Manager でできる画像処理

画像をクリックすると前記の画面が現れ、右側に処理のできる項目が出ますので、行いたい項目を選びます。

### ●画像の編集ツール

- ◇明るさとコントラスト
- ◇色
- ◇トリミング
- ◇回転と反転
- ◇赤目修整

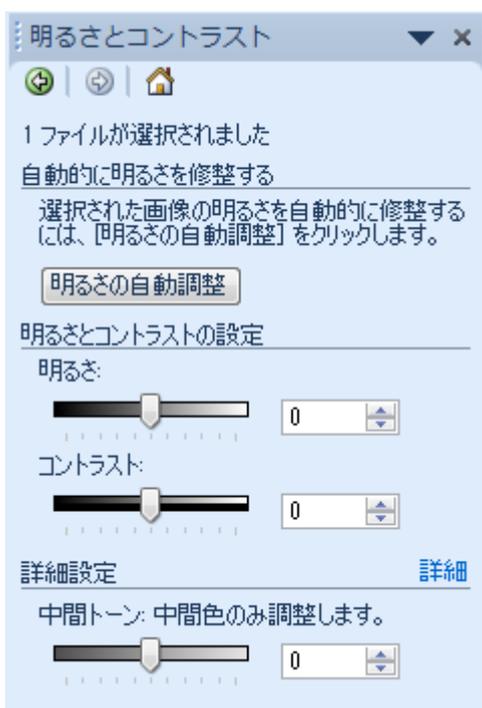
### ●画像のサイズを変更する

- ◇サイズ変更
- ◇画像圧縮

## ◆Picture Manager 画像処理の実際

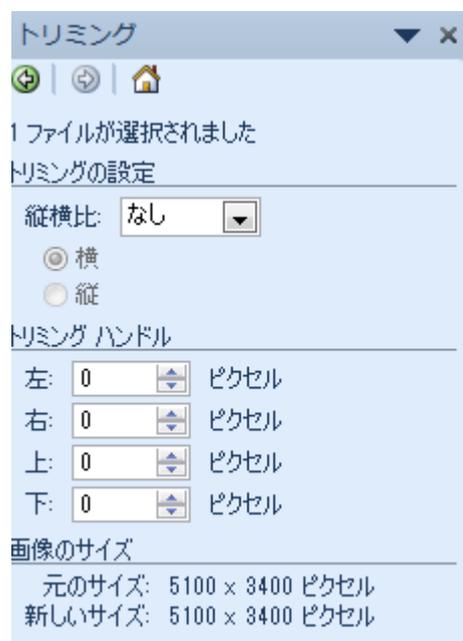
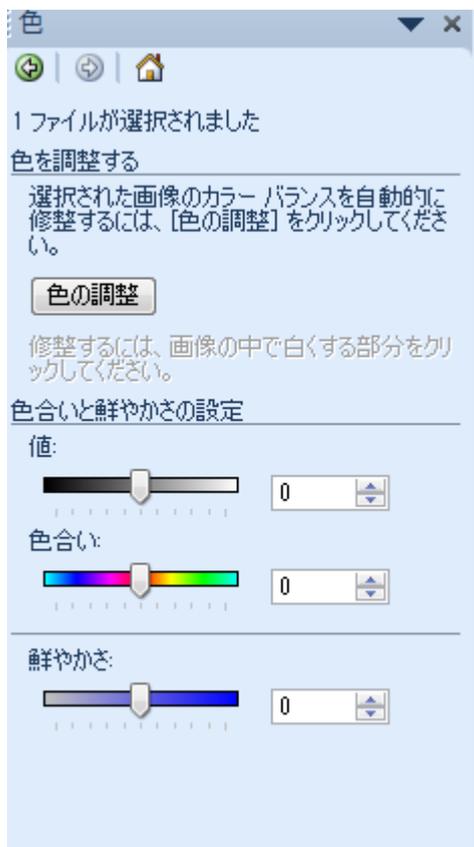
### [明るさとコントラスト]

- ① 画像が明るすぎたり、暗すぎるときに使用します。
- ② 大きく明るくしたり暗くしたりするとき以外は、詳細設定の「中間色のみ調整」でほぼ満足できます。
- ③ コントラストを上下することで画像を際立たせることができます。(あまり強くすると黒くつぶれますのでその点を注意してください)
- ④ 応用編として、中間色を少し落として、コントラストを少し上げると画像の色を濃くすることができます。
- ⑤ 自動調整は、コンピュータが勝手に判断し自動的に調整しますので、良いときと悪いときがあります。自動調整するときには必ずそれまでの処理をいったん保存して、自動調整単独で行い、結果が満足できるかどうか判断し、満足できないときは「保存しない」を選択する。



## [色]

- ① 画像の色を濃くしたり薄くしたり、また色合いを少し変えるときに使用します。  
大きく色の濃さを変えるとき以外は、「鮮やかさ」を調整すればほぼ満足できます。
- ② 色合いの調整はレバーを左右に動かして、満足できる所で止める。  
しかし微妙な調整はなかなかできないのが現実です(このソフトの欠点)
- ③ 自の自動調整は、前期「明るさとコントラスト」と同様に単独で行い、満足できるかどうか個々に判断してください。



## [トリミング]

- ① 左右上下の不要な部分をカットしたり、サイズの縦横比を変えるときに使用します。
- ② このソフトの最大の利点と考えられる点で、画像サイズがピクセル数値で表されます。  
カメラの画像サイズの比率と印刷したい用紙の比率はなかなか一致せず、印刷画面で自動的に用紙に合わせる項目もありますが、コンピュータが勝手に判断しますので細かい調整が必要な場合は数値で管理できるこのソフトが重宝します。  
例：カメラのサイズは「2：3」や「3：4」などがありますが、プリンタ用紙の比率 L版の用紙サイズは 89×127 で [1：1.427] になり、A 4 版は 210×297 [1：1.1414] になります。
- ③ 画像の端から端まで 100%印刷しようとするときは、画像サイズをあらかじめ用紙のサイズ比率にしてから印刷する必要があります。このような時現在のピクセルが数値で表され、かつトリミング結果が数値でわかるこのソフトは重宝します。
- ④ 実際のトリミング作業、まず大まかに上下左右のバーで行い、その結果が新しいサイズとして表示されますから、細かい比率は上下クリックで行うことが最も正確です。
- ⑤ 次の項の画像の回転を行った後に行うトリミングもこれと同様に行えばよい。

## [回転と反転]

- ① 横位置の画像を縦位置に90°左回転させたり、また反対に縦位置の画像を90°右回転させます。(2回繰り返せば180°回転します)
- ② 角度の調整もここでを行います。  
次の写真のように水平が少し傾いた経験のあると思います。これを修正するときはこの項目を使用します。
- ③ 「角度の指定」の上下矢印をクリックし、修正したいところまで回転させて修正します。
- ④ ある程度回転させたら、結果の確認は前の項のトリミングを使用し、上下のバーを水平ラインまで動かして水平を確認すると確実です。またビルや立木があるときはこれがまっすぐになっているかを左右のバーを動かして確認する方法もあります。
- ⑤ 反転では、左右を反転させたいとき、または上下反転させたいときにこの項目を使いますが、その機会は少ないと考えますから必要な場合は画像を1枚コピーした後にテストして下さい。(元の画像を破壊しないため)

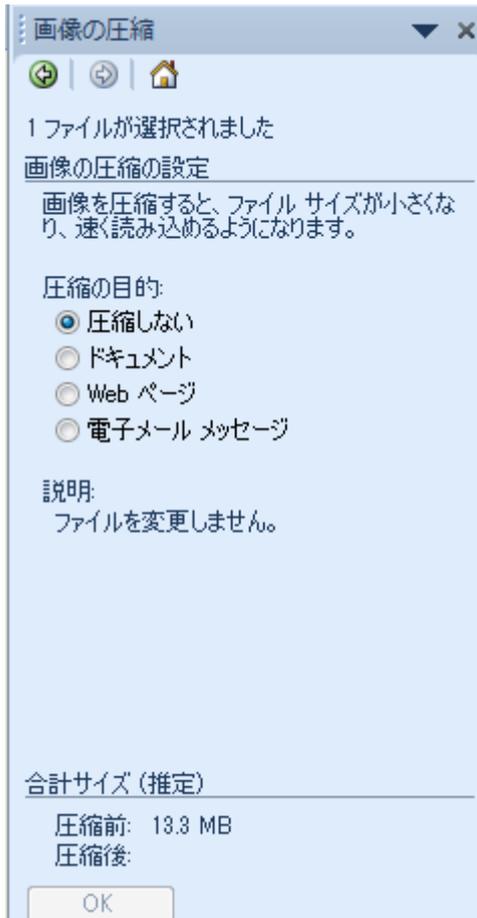


## [赤目修整]

- ① ポートレートなど人物を撮影したとき、キャッチライトや光線の関係で目が赤くなる場合があります。この赤目を修正するときはこの項目を使用します。
- ② 修正したい赤目をクリックして「OK」をクリックすれば修正できます。

## [画像のサイズ変更と画像圧縮]

- ① 画像圧縮では「ドキュメントサイズ」「web ページサイズ」「電子メールメッセージサイズ」など代表的な3サイズの指定が可能
- ② それ以外のサイズに変更したいときは「サイズ変更」で細かく指定できます。



文責：瀬口